解答は PDF ファイルとして講義実施日中 (23:59まで) に Moodle からアップロードして提出する こと.

問題

図1の棒部材ACに作用する支点反力と軸力分布を求め、軸力図を示せ.

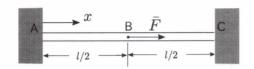
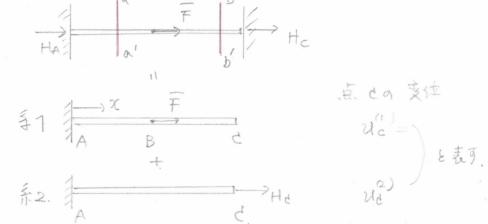


図 1: 部材中央に集中荷重を受ける両端固定部材.



(2)
$$u(x) = \frac{1}{5} = \frac{1$$

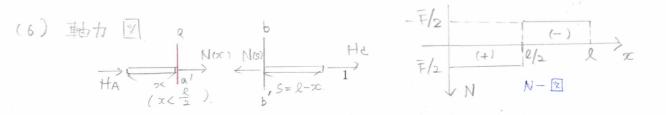
$$\int_{0}^{R} NN dx = \int_{0}^{R/2} \frac{1}{F \cdot 1} dx = \frac{1}{2} \frac{F}{F} dx$$

$$\int_{0}^{R} NN dx = \int_{0}^{R/2} \frac{1}{F \cdot 1} dx = \frac{1}{2} \frac{F}{F} dx$$

(3)
$$u(c)$$
 引 第
 $N(x) = Hc$, $\widetilde{N}(x) = 1$

(4)
$$\hat{\mathbf{a}}$$
 $\hat{\mathbf{a}}$ $\hat{\mathbf{a}}$

(4) 適合年件:
$$u_{c}^{2} + u_{c}^{2} = 0$$
 $= \frac{1}{2}F_{H}$ (5) 部标全体 $a_{c}^{2} = 0$ $= \frac{1}{2}F_{H}$ $= 0$ $= \frac{1}{2}F_{H}$ $= 0$ $= \frac{1}{2}F_{H}$ $= 0$ $= \frac{1}{2}F_{H}$



解答は、PDFファイルとして講義実施日中 (23:59 まで) に Moodle からアップロードして提出すること.

問題

図 1 の単純支持梁について、点 B におけるたわみ v_B を単位荷重法を用いて求めよ. なお、梁の曲げ剛性 EI は一定とする.

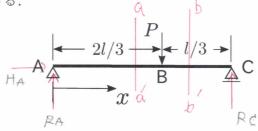


図 1: 鉛直方向の集中荷重を受ける単純支持梁.

(1)
$$\nabla h$$
: $RA = \frac{1}{3}P$, $Rc = \frac{2}{3}P$, $HA = 0$

(3) 積分
$$\int_{A}^{B} M\widetilde{M} dx = \int_{0}^{\frac{1}{3}} (\frac{1}{3}Px)(\frac{1}{3}x) dx = \frac{8PL^{3}}{36}$$

$$\int_{d}^{B} M\widetilde{M} dx = \int_{0}^{\frac{1}{3}} (\frac{2}{3}Ps)(\frac{2}{3}s) ds = \frac{4PL}{36}$$

$$V_{B} = \int_{A}^{c} \frac{MM}{EI} dx = \frac{12}{36} \cdot \frac{PR^{3}}{EI} = \frac{4}{243} \cdot \frac{PR^{3}}{EI}$$

解答は、PDFファイルとして講義実施日中 (23:59 まで) に Moodle からアップロードして提出すること.

問題

図 1 に示す梁について,点 C におけるたわみ v_C を単位荷重法を用いて求めよ.なお,梁の曲げ剛性 EI は一定とする.

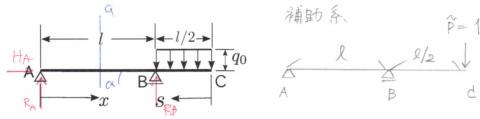


図 1: 区間 BC に鉛直方向の等分布荷重を受ける張出し梁.

$$\int_{A}^{B} M\widetilde{M} dx = \int_{0}^{2} \left(-\frac{1}{8} 8 dx \right) \left(-\frac{1}{2} \pi \right) d\pi$$

$$= \frac{86Q}{16} \left(\frac{\pi^{2}}{3} \right)^{2} 6$$

$$= \frac{1}{48} 8 d^{4}$$

$$\int_{C}^{B} M\widetilde{M} ds = \int_{0}^{2/2} \left(-\frac{1}{2} 8 s^{2} \right) (-s) ds$$

$$= \frac{1}{2} 8 s \left(\frac{54}{4} \right)^{2} 6$$

$$= \frac{1}{128} 8 s d^{4}$$

$$V_{c} = \int_{A}^{C} \frac{M\widetilde{M}}{EI} dx = \frac{11}{384} \frac{800}{EI} dx$$

解答は PDF ファイルとして講義実施日中 (23:59まで) に Moodle からアップロードして提出すること.

問題

図1に示す梁について、点Bにおける鉛直変位 v_B を求めよ.ただし、梁の断面剛性EIとEAはいずれも一定とする.

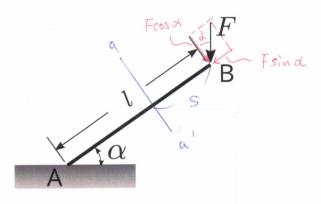
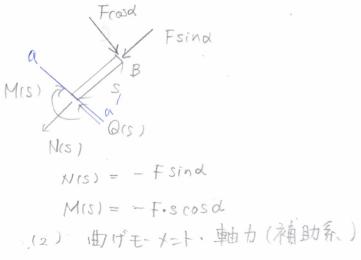


図 1: 部材端部に鉛直下向きの集中荷重を受ける傾斜した片持梁.

1





$$\hat{p}=1$$
 $(\hat{m} = 1)$
 $\hat{N} = -\hat{p} \sin \alpha$
 $\hat{M} = -\hat{p} \cdot s \cdot \cos \alpha$

(3) 鉛直交位
$$\int_{0}^{2} N\widetilde{N} dS = \overline{H}sin^{2}dS$$

$$\int_{0}^{2} M\widetilde{M} dS = Fcos^{2}d \int_{0}^{2} s^{2}dS = \frac{Fl^{2}}{3}cos^{2}dS$$

$$V_{B} = \int_{0}^{2} \frac{N\widetilde{N}}{EA} + \frac{M\widetilde{M}}{EI} dS$$

$$= \frac{Fl}{EA} sin^{2}d + \frac{Fl^{2}}{3EI} cos^{2}d$$

解答は PDF ファイルとして講義実施日中 (23:59まで) に Moodle からアップロードして提出すること.

問題

図 1 に示す骨組み構造の、点 A における水平変位 u_A を求めよ.ただし、各部材の断面剛性 EI と EA は一定とする.

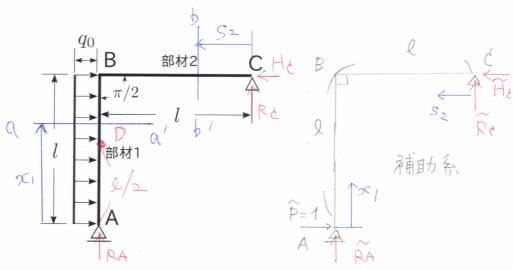
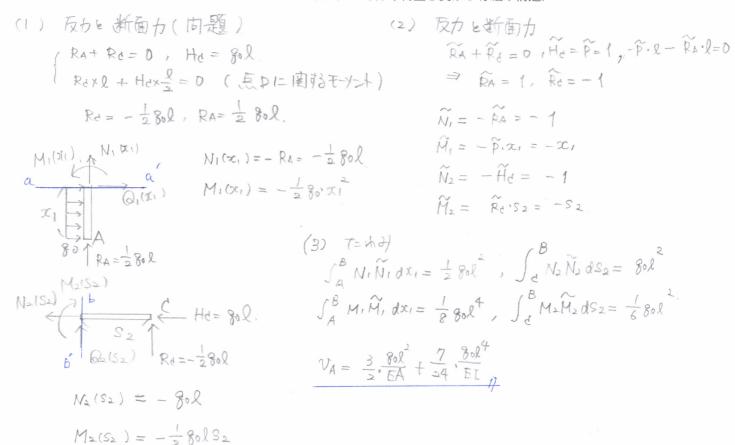


図 1: 鉛直部材に水平方向の等分布荷重を受ける骨組み構造.



解答は PDF ファイルとして講義実施日中 (23:59まで) に Moodle からアップロードして提出すること.

問題

図1に示す両端が固定された軸力部材について、マトリクス構造解析の方法によって変位の近似解を求め、その結果を変位分布のグラフとして表わせ、ただし、部材の断面剛性 *EA* は一定とし、図に示すような2つの要素に分割して近似解を構成することとする.

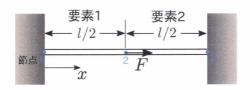


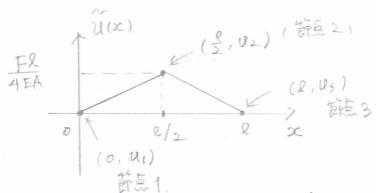
図 1: 両端が固定された軸力部材.

E713. U1= U3=0 7= 56,

$$U_1 = \frac{FL}{4EA}$$
, $F_1 = F_2 = -\frac{E}{2}$.

û(x) は、(0,U,),(量,U),(し,U)を 菌を折水鍋でするで、 部底1、 観2, 地2) , (し,U)を 菌を折水鍋でするで、

辺ののブラフは以下のようにてまる。



でおり、この 阿題では $U(x) = \hat{U}(x) + F\delta(x-\frac{2}{2})$ 、V(0) = U(2) = 0 となり、この 阿題では $V(x) = -\frac{F}{FA} \langle x-\frac{1}{2} \rangle + \frac{F}{2FA} \propto$